

第三次常総市総合計画（基本構想・基本計画）策定等支援業務委託
公募型プロポーザル選定要領（評価基準及び配点）

1 趣旨

この基準は、常総市総合計画（基本構想・基本計画）策定等支援業務委託に関する提案のうち、最も優秀な提案を行ったと認められた者を選定するために必要な事項を定めるものである。

2 評価方法

（１）一次審査（書類審査）

提出された書類について、各評価項目における評価基準に基づき採点を行う。各委員の得点の合計点が合格基準点（満点の６割）を上回る者かつ各委員の得点の合計点が高い上位３者程度を二次審査対象者とする。

合計点が同一の場合は、一次審査の評価項目２「提案資料」の採点の合計点数が高い者を、さらに「提案資料」の採点の合計点数が同一の場合は、委員の評決により選定する。参加する提案者が３者未満の場合でも一次審査を実施し、合格基準点を超えた者が二次審査へ進むものとする。

なお、審査結果における合格基準は、審査委員の合計総得点の割合が６割以上とし、合格基準に達する者がいない場合は、本公募による選定を行わないものとする。

（２）二次審査（プレゼンテーション）

提案書に基づくプレゼンテーションと評価委員による質疑応答を実施し、各評価項目における評価基準に基づき評価を行う。評価委員の二次審査の合計点数が高い順に順位を付す。合計点数が同一の場合は、テーマ「経営的視点」の合計点数が高いものを、さらに「経営的視点」の合計点数が同一の場合は、委員の評決により選定する。

なお、審査結果における合格基準は、審査委員の合計総得点の割合が６割以上とし、合格基準に達する者がいない場合は、本公募による選定を行わないものとする。

（３）優先交渉権者の決定方法

各審査委員の審査結果により定めた順位で、第１位となったものを第１優先交渉権者とし、次点を第２優先交渉権者とする。

3 評価基準及び配点

評価基準及び配点は以下の表のとおりとする。

(1) 一次審査（書類審査）

	評価項目	評価要素	参考資料	配点
1	業務実績	○ 本業務を適切に遂行する能力があるか。 ○ 地方公共団体での業務等に十分な実績を有しているか。	・ 業務実績書 ・ その他	20
	業務体制	○ 本業務を遂行するための組織体制が整っているか。	・ 業務体制表	10
	実務経験	○ 本業務の配置予定者が、十分な経験を有しているか。	・ 業務体制表	
2	提案資料	○ 本業務の仕様書等で求めている項目等について、適切に記載があるか。独自の提案があるか。	・ 企画提案書	30
3	その他	○ 上記審査項目以外で、優れた点が提案に含まれているか。	・ 企画提案書	10
合計				70

※ 審査結果における合格基準は、審査委員の合計総得点の割合が6割以上とし、合格基準に達する者がいない場合は、本公募による選定を行わないものとする。

(2) 二次審査（プレゼンテーション審査）

	項目	項目の解説／評価要素		配点
1	業務遂行能力	解説	組織体制／主担当予定者の実績等／本業務への基本姿勢	
		○ 業務を遂行するための組織体制は整っているか ○ 主担当予定者の実務実績や能力は十分か ○ 本市の業務量が少なくなる提案があるか ○ 業務スケジュール及びその進捗管理は明確かつ適切か		20
2	分析力	解説	本市の現状分析の手法	
		○ 現状分析手法が効果的であるか		20
3	計画策定	解説	次期計画の体系・有効性	

		○ 体系・成果指標の設定について具体的・論理的な提案があるか		15
		○ 成果等を踏まえた事業の取捨選択等につながる計画の提案であるか ○ 次期計画と予算の連動等，経営的視点がある提案であるか		20
		○ 仕様書に書かれていない効果的な独自提案があるか		10
4	計画運用	解説	次期計画の進行管理・実行性（実効性）	
		○ 次期計画を実行性のある計画とするための進行管理の提案があるか		20
		○ 次期計画の職員理解度が高まる提案がされているか		15
5	価格	解説	企画提案の見積価格の順位付け	
		○ 見積価格が適正か ※ （最低提案価格÷当該提案価格）×配点 ただし，小数点第2位で四捨五入		10
合計				130

※ 審査結果における合格基準は，審査委員の合計総得点の割合が6割以上とし，合格基準に達する者がいない場合は，本公募による選定を行わないものとする。